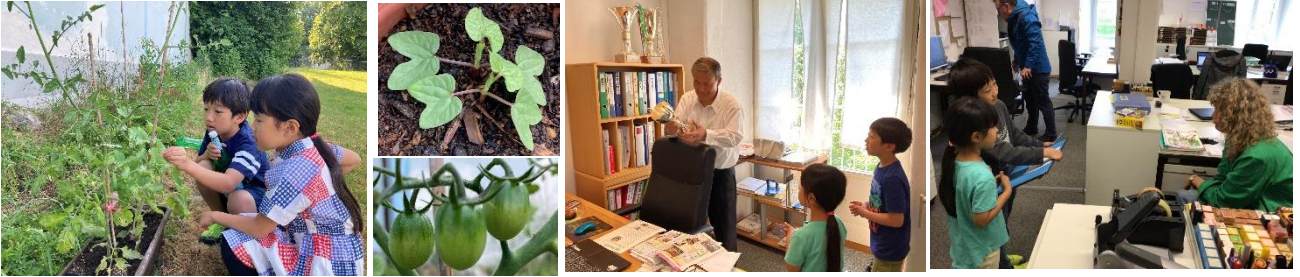


生活科 小学部1・2年(2023年度の取組)

生活科では、自分自身や私たちを支える人々、自然、町の様子などについて学びます。ここウスターでもスイスにいるよさを生かしながら、日本の学校と同じように町探検や公園探検に出掛けたり、アサガオや野菜の育成等を行ったり、地域や自然と触れ合う学習をすることを大切にしています。



【春】「学校の場所や先生について知りたい!」と学校探検をしました。分かったことは、クイズにして、全校の前で発表しました。日本人学校で何年間も引き継いで育てられたアサガオの種やきゅうりとトマト苗も植えました。水やりをしたり、虫よけ対策を考えたり、野菜の成長を楽しみに育てました。



【夏】上級生がサマーキャンプに出掛けている間に、実った野菜で「冷やしきゅうりうどん」や「トマトの炊き込みご飯」を作り、おいしくいただきました。また、バスや電車、ケーブルカーを乗り継ぎ、ツアーカーベルグで「サマーハイキング」を行いました。ハイキングコースでは、森の妖精が隠した宝石の場所を示す9つのアルファベットを探したり、バーベキューをしたりして、スイスの夏を楽しみました。



【秋】近隣の農場へ行き、多様な種類のカボチャやヤギと触れ合いました。また、市場に出掛けたり、ウスター城や教会、パン屋さんを訪れたりなど、町探検をしました。10月の学習発表会では、探検で学んだことを「3匹のやぎのがらがらどん」の劇にして、ウスター市のお勧めポイントを発表しました。

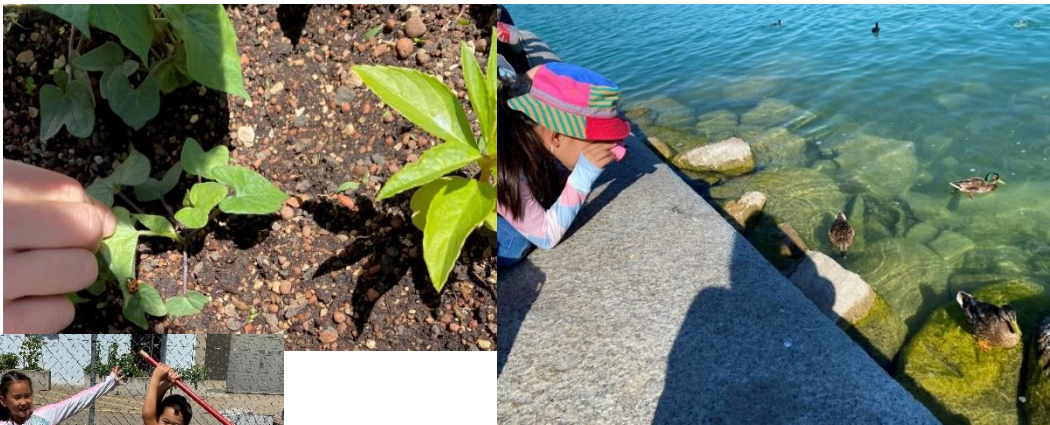


【冬】積もった雪で、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、色水を作ってトロロの雪像にお化粧をしたりして、スイスの冬を楽しみました。3月には、お世話になった方々をお招きして「ありがとうの会」を開き、1年間のできるようになったことを発表し、感謝の気持ちを伝えました。

生活科 小学部1・2年

小学校の生活科では私たちを支える人々や自然、まちの様子など、身の回りの物事について学びます。ここウスターでも学校探検やまち探検、アサガオや野菜の育成等を行います。日本の学校と同じように学校の周りに出かけたり、自然と触れ合うために校外学習へ出かけたりと、地域とふれあひ学習する機会を大切にしています。言葉が通じない状況の中でも、子どもたちは町や人々の様子から様々なことを発見し、疑問を解決しています。

2022年度の活動を紹介します。アサガオは、日本人学校で育てられた種を何年間も引き継いでいます。その力強い生命力に驚き、大切に育てました。野菜については近隣の施設に買いに行き、児童の興味に合う野菜を栽培しました。「大きくなってね」と声をかけながら水やりをし、実った野菜をおいしくいただきました。



上級生がキャンプに出かけている間には、スイスの夏を味わおうと、子どもたちの意見や興味のある事柄を集め、実際にやってみるということを行いました。ハイキングでは動植物に詳しい保護者が作ってくださった図鑑を持ってスイスの鳥や草花を探しました。その他にも「すいかわり」「水遊び」「うどん作り」「フルーツ氷作り」など、盛りだくさんの活動を行うことができました。

秋には近隣の農場へ行き、作物をおいしく育てるコツや種まきの時期など、疑問に思ったことを質問しました。日本ではなかなかお目にかかることのない大きさのカボチャや、多様な種類のカボチャを目の当たりにし、児童の興味はますます深まりました。10月の学習発表会では学んだことをもとに、それまでの学習で分かったことを劇と映像で発表しました。

私たちの暮らしに身近な出来事や、私たちの地域での驚きや発見を大切に、少人数ならではの学習を展開していきます。

